

## 令和2年度自治体等FM連絡会議福島県地域会の開催報告

福島県地域会代表幹事 福島県総務部財産管理課  
財産活用担当 渡部翔太郎

### 【福島県地域会について】

今年度は、新型コロナウイルス対策として、web 会議システム「Zoom」を活用し、リモート会議により当地域会を開催しました。

公共施設の総量の適正化、住民ニーズの多様化等による広域連携の可能性を考えるため、『福島県における「広域連携」のあり方について』とし、第1部では、有識者及び先進自治体職員の講師による講演をいただき、広域連携の理解を深め、第2部では、参加した自治体職員と講師を交え、広域連携について意見交換を行いました。

### 【第1部～講演～】

(1) 【演題】「公共施設マネジメントにおける広域連携の可能性について」

【講師】一般財団法人建築保全センター保全技術研究所第三研究部次長

公共建築マネジメント研究センター主任研究員 池澤 龍三 氏

池澤龍三様の講演では、民間企業との連携やICTの利用、施設のデータ化を前提とした新しい広域連携の可能性についてお話をいただきました。自身の経験から、具体的な施設の活用について、メリット・デメリットの整理やデメリットに固執しない合意形成のあり方など、参加した自治体職員が今後取り組む公共FMについてのヒントをご教示いただきました。

また、施設の点検を共同で行うソフト面での広域連携、施設のメンテナンスを共同で行うハード面での広域連携について、県でも市町村でもない立ち位置の事務組合、広域連合がICT等を活用し、広域連携を具現化していく考え方についてお話をさせていただきました。



写真1 (一財)建築保全センター 池澤様 講演

(2) 【演題】「広陵町における広域連携について」

【講師】奈良県広陵町企画部企画政策課 芝 賢明 氏

賢明様の講演では、広域連携に取り組んでいる中で具体的な検討内容や進め方、その中で県市町村間での調整に苦労されている点や問題点、コミュニケーションの重要性などについてご紹介いただきました。

また、現在進めている周辺市町村と共同で行う包括管理委託のサウンディング型市場調査の取組についてお話をいただき、広域連携はもとより官民連携の重要性についても学ぶことができました。

周辺市町村及び県と広域連携を進めていく中で生じる様々な課題に対応し、スピード感をもった積極的な取組は、参加した自治体職員に大きな刺激を与えていただいたと思います。



写真2 広陵町 芝様 講演

## 【第2部～意見交換会～】

意見交換会では、web 会議システム「Zoom」のブレイクアウトルーム機能を活用し、A～Cの3つのグループに分かれ、「①広域連携の可能性」、「②広域連携実現に向けた課題・アイデア」の2つのテーマに沿って意見交換を行いました。

現状の課題と織り交ぜつつ、具体的な施設（卸売市場、体育施設、文教施設等）やサービス（施設データの共有、マッチングアプリ、在宅診療の広域化、予約システム）等を取り上げながら、終始、積極的な意見交換が交わされ、時間が足りなくなるくらい活発な議論が行われました。

行政のみで考えるのではなく、住民ニーズの把握もしっかり行っていくなど基本に立ち返ったFMの取組の重要性を再認識することができました。

各グループの発表の際は、幹事の会津若松市においてアイデアを可視化するためのグラフィックレコーディング（写真3）を行い、意見交換の内容をわかりやすくまとめていただきました。

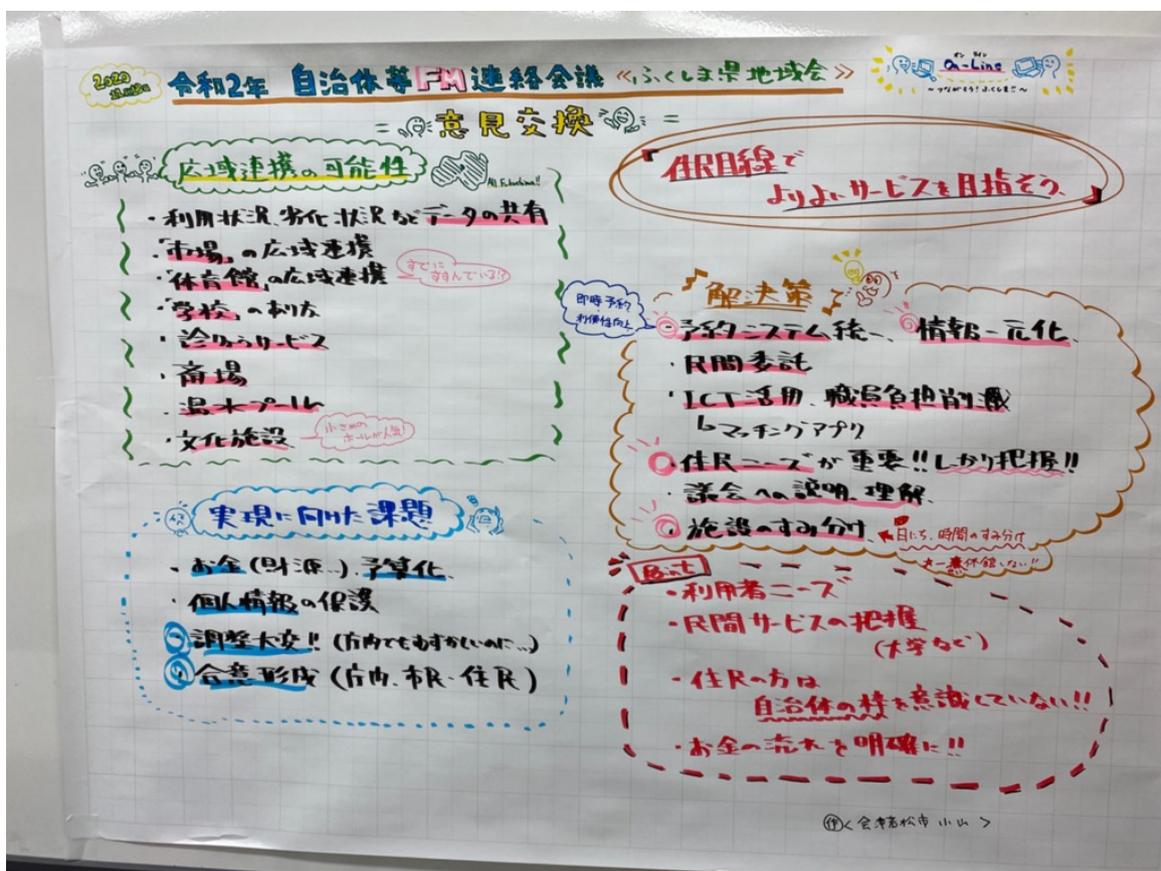


写真3 グラフィックレコーディング

## 3 おわりに

ご講演いただいた建築保全センターの池澤龍三様、広陵町役場の芝課長補佐、福島県地域会に参加された方々、建築保全センターの関係者の方々、令和2年度幹事の会津若松市並びに関係者の方々に厚く御礼申し上げます。